

白浜レスキューネットワーク通信5月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://srnw.or.jp>e-mail yabiumi@gmail.com

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

5月1日～5月31日

保護件数 2件(女性2名、男児1名)

帰宅件数 2件(女性2名、男児1名)

○男性に連れられ、女性が保護を求めて訪ねて来た。三日後にこころの医療センターに通院するということもあり、帰宅することになった。

○母子を保護。夫との関係に悩む。

生活自立支援活動

5月1日～5月31日

滞在者数 18人(男性10人、女性8人)

自立件数 1件(男性1名)

○デイサービスやショートステイなどを利用しながら共同生活を続けている男性は、今月も変わらず元気に過ごすことができた。デイサービス先が変わったが、そこにも慣れた様子。

○警備会社に就職した男性は、4月に保護した男性と二人部屋になった。男性本来の優しさが活かされ、良い関係を作ってくれている。

○給料を貯金して行くことが始まった50代男性は、短期の梅取りの仕事に行っている。外の仕事に就くりハビリの思いもあり、仕事内容も楽しいと感じるとのこと。

○新聞配達をしている50代男性は、聖書の勉強会に参加し始めた。聖歌隊にも加わり、どんどん人との関わりが深くなっている。精神的にも落ち着いて来た。

○まちなかキッチンで働く40代男性は、夜井の営業にがんばっている。

○まちなかキッチンで働く30代男性は、そろそろアパートに移って生活してみたいとの希望を持ち始めた。候補となるアパート情報を共有し下見を始めている。

○通信高校3年生となる10代男性は、短期の梅取りのバイトと高校の勉強に励んでいる。

○40代女性は、人並みにできることを少しずつ増やしていこうと取り組んでいる。規則正しい生活、掃除や食事準備の当番、畑作業、地域の奉仕活動などに組み込みながら、自分の課題に向き合っている。

○自宅に帰る決心ができた女性は、6月3日に帰ることに。

○80代女性は、自宅に帰って生活できるか試す期間を設けることになった。今回2度目の帰宅。6月19日まで、さらにもう一度お試し期間を持つ予定。

○まちなか惣菜で働く50代女性と、残してきた家の管理について、光熱水費など基本使用料がかかるものについて、止めるものは止めて無駄を減らすことを確認。手伝いながら進める。

○まちなかキッチンとコンビニを掛けもちしている20代女性は、確定申告を行い、ついに税金を納めることができるようになった。

○筋力が低下し、手足がしびれて動きづらい体となっている男性は、再び体の不調が出始めた。ただ、雰囲気は前向き。

○串本から来た70代男性は、26日、串本町のアパートへ引っ越していった。警察から行政へ、そして、当NPOに一時保護依頼が来てから約1カ月での対応だった。

○22日に保護した70代の男性は、仕事があれば何でもしますとのことだったが、紹介した警備会社の面接に行ったふりして行かなかった。信頼を失うこの行動を指摘。さらに、自分の年金を担保に友人から100万円を超える借金をしていることがわかった。

○29日に保護した夫婦は、ほぼ引きこもった状

態を続けている。問い合わせがあった歯医者
の情報と奥さんの誕生日にケーキの
おいしいお店の情報を伝えた。

自殺予防活動

・フードバンク、フードドライブ

グルメシティの白浜店様、新庄店様、東陽店様、
明洋店様、万呂店様、御坊店様、ショッピング
センター様のご協力に感謝。

また多数の方から、食料品(お米、野菜、缶詰、
おもち、ケーキ、パンなど)の提供を頂き感謝。

白浜町在住の男性に、まちなかキッチンの無料
の弁当を毎日届けている。

白浜町在住の男性に、二週間分の食糧援助を行
う。

・明誠高校和歌山白浜SHIP(定時制高校)

来年4月から、学校法人格をもつために準備が
進められ目処が立った。

学力、生活力、関係力を身につけさせられる教
育を目指す。

・コペルくん活動

現在5名の小学生が来ている。帰りの車の中
での話は6月に行われる予定の小学校の運動会
の話が多い。また、最近は好きな子がいるなど
の話をしてくれるようになってきた。

・農業

私たちの活動で、共同生活に加わった人を受け
入れていく最初の要になっている働き。

現在、まちなかキッチンの裏山で、キュウリ、
ズッキーニ、すいか、ピーマン、なす、ししと
うなど夏野菜を育てている。

今月は、じゃがいも、玉ねぎなど収穫できた。
また富田にあるハウスでは、小松菜、ほうれん
草、水菜などを作り、産直店などに出荷してい
る。

・6月に行われる町内会の溝掃除に向けて草引 きを開始

地域奉仕活動は、私たちの活動を受け入れてく

れている地域の皆さんに対する感謝も含め重
要な働きだ。今月は、6月に行われる溝掃除に
向けて、近所の草刈りを順次進めた。作業をし
ている中で、近所の方々との交流も生まれ、お
互いを知る機会にもなり、安心感にもつながっ
ている。

・NHK取材

・致知出版社取材

・和歌山県看護協会で講演

・天理教和歌山教務支庁で講演

・立正佼成会和歌山教会の方々が視察